

2液形シリコン系屋根用塗料

ニッペ ファイナル-フSi

トタン屋根、住宅用化粧スレート屋根にも塗れる屋根用塗料の実力派!!





ファインルーフSi



トタン屋根、住宅用化粧スレート屋根いすれにも塗装可能な屋根用塗料の実力派 !!

外壁面用より高レベルな**耐久性(強さ)**と**光沢(美しさ)**を求められる屋根用塗料。

ファインルーフSiは**強靱な塗膜**を形成し、厳しい自然環境からお住まいの屋根を保護します。

ファインルーフSi 6つの特長

1 高光沢

“ギラつや感”があり、鮮映性の高い美しい仕上がりです。

2 紫外線に強い

紫外線に強く、塗りたての美しさを長期間保ちます。

3 高耐久性

積雪や降雪などに対して、すぐれた耐久性を発揮します。

4 すぐれた速乾性

乾燥が速い2液形なので、塗装後早期に性能を発揮します。

5 豊富なカラー24色

人気のトタンカラー24色で街並みの景観などに合わせて、個性を演出します。

6 幅広い下地適性

トタン屋根だけでなく、住宅用化粧スレート屋根や波形スレート屋根にも塗装可能です。

●色相

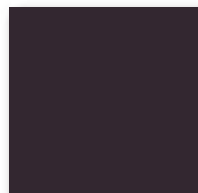


ファインルーフSi

Color Variation カラーバリエーション

街並みの景観などに合わせて、個性を演出します。

コーヒブラウン



チョコレート



サニーレッド



エンペラーブルー



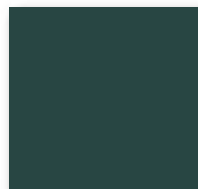
セルリアンブルー



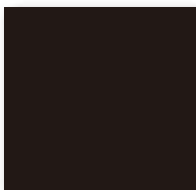
ナイスブルー



モスグリーンS



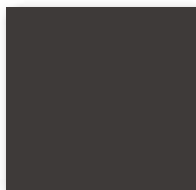
ブラック



ブラックネス



ノアール



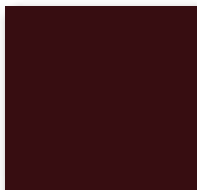
アイビー



サーフグレー



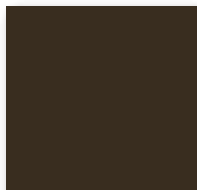
ニューワイン



マウンテングレー



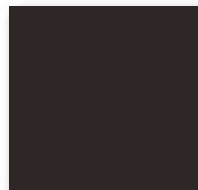
ダークセピア



マーズレッド



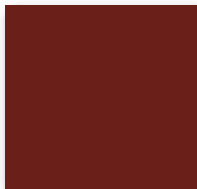
チャコールグレー



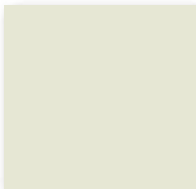
マスカットグリーン



ビーバーレッド



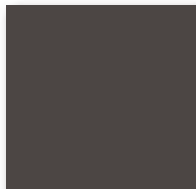
アイボリー



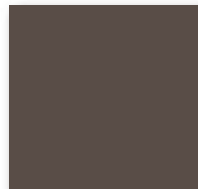
ブルーブラック



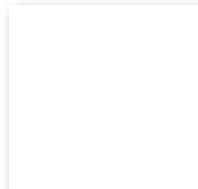
ナックルグレー



アッシュブラウン



ホワイト



*色は印刷のため近似色です。

*色相については、ルーフペイントシリーズ色見本帳をご用意しておりますので、そちらをご覧ください。

●製品体系

塗料名	ニッペ ファインルーフSi
系 統	2液形シリコン系屋根用塗料
容 量	15Kgセット (塗料液13.5kg 硬化剤 1.5kg)
色 相	24色
つ や	有り
塗料液:硬化剤 混合比(重量比)	9:1
ポットライフ(23℃)	6時間

・色相については、見本帳をご用意していますのでご覧ください。

●乾燥時間

乾燥場所の 気温	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	60分	30分	20分
塗り重ね乾燥	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内	2時間以上5日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

●適用下塗り

- ニッペ ハイボンファインプライマーⅡ
- ニッペ ハイボンルーフデクロ
- ニッペ 1液ハイボンファインデクロ
- ニッペ エスパークワンエース
- ニッペ ファイン浸透造膜シーラー
- ニッペ ファイン浸透シーラー
- ニッペ 1液ベストシーラー
- ニッペ ファインパーフェクトベスト強化シーラー など

●用途

- 戸建住宅 ●各種工場 ●体育館 ●公共施設 などの屋根面

●適用下地

- 鋼板屋根 ●トタン屋根
- 住宅用化粧スレート屋根 ●波形スレート屋根

ファイナルーフSi

本製品は、 塗料配合中に鉛・クロムを含みません。

●標準塗装仕様 鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え							
工 程	塗 料 名	塗 り 回 数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下 地 調 整	彫れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤拭きを行い清浄な面とする。						
下 塗 り	ニッペハイボンファインプライマーⅡ	1	0.16～0.18	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0～10	はけ、ウールローラー
						0～5	エアレススプレー
上 塗 り	ニッペファイナルーフSi	2	0.12～0.14	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0～10	はけ、ウールローラー
						5～15	エアレススプレー

注)上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注)塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注)下塗りにニッペハイボンルーフレテクロやニッペ1液ハイボンファインテクロ、ニッペエスパーワンエースもご使用いただけます。

●標準塗装仕様 住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え							
工 程	塗 料 名	塗 り 回 数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下 地 調 整	こみ、ほこり、かび、こ、藻など、付着物は急に除去する。素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水流が望ましいが、高圧水圧がでない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤーブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、彫れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を急に除去する。十分に付着している活膜は残していよい。						
下 塗 り	2液ニッペファイン浸透造膜シーラー	1～2※1	0.16～0.20	4時間以上7日以内※2	無希釈※3	—	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー
	2液ニッペファイン浸透シーラー		0.15～0.30	4時間以上5日以内※2			
	1液ニッペ1液ベストシーラー		0.15～0.30	3時間以上7日以内※2			
	1液ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー	1※1	0.15～0.30	4時間以上5日以内※2			
上 塗 り	ニッペファイナルーフSi	2	0.15～0.18	3時間以上7日以内※2	塗料用シンナーA	0～10 5～15	はけ、ウールローラー エアレススプレー
縁 切 り	水切り部で化粧スレートの上下重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

注)上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注)旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。注)シーラーの適用について詳細な仕様については、別途「スレート屋根塗料シリーズ」のカタログをご覧ください。

※1シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗付してください。

※2「ニッペ1液ベストシーラー」「ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー」「ニッペファイン浸透シーラー」「ニッペファイン浸透造膜シーラー」は、高温下では、硬化反応が著しく速まります。

高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3少しでも希釈すると付着性が低下します。

施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などでご確認ください。）

○鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え

- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
- こみ・ほこり・砂・油・樹脂などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- さびは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで急に除去し、彫れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- なみがたトタンの山の部分やトタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるコツです。
- 塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解するおそれがあります。
- 鉛酸カルシウムさび止め（JIS K 5629）は、下塗りに使用しないでください。
- 塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引けているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- 昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や彫れ、割れ、はく離の原因になります。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- 塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性が有りますのでご注意ください。

○住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え

- 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。(光沢低下、彫れ、割れ、はく離の原因となります。)
- 下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/p)以上の高圧水流が金属ワイヤーブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- 経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、ファインパーフェクトベスト強化シーラー、または、ニッペファイン浸透造膜シーラーをご使用ください。
- 水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- 粘土瓦(いびし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、最寄りの営業所にご相談ください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- 無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。

○共通

- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダルし、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。

- 異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密性にて貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤彫れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満もしくは、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗膜の取り扱いときは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密性してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
- 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101

東北支店 ☎022-232-6711

関東支店 ☎03-5479-3614

北関東信越支店 ☎03-5479-3614

中部支店 ☎052-461-1960

近畿支店 ☎06-6455-9608

中国支店 ☎082-281-2180

四国支店 ☎0877-56-2346

九州支店 ☎092-751-9861

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-C027

TY240225H

2024年2月現在